

リージョナル航空と地方創生

日時：11月12日（火）16:50-18:35

場所：国際学術総合研究棟12階 1219

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、株式会社フジドリームエアラインズ代表取締役会長 鈴木与平氏からお話を伺います。

少子高齢化に伴う人口減少、大都市一極集中による地方の過疎化といった問題が進展する中、地域の活性化は喫緊の課題となっています。

そのような中、2008年に「株式会社フジドリームエアラインズ」を設立し、2009年の就航開始時は、3路線8便の体制でスタートしたが、現在は19路線80便に拡大しています。就航以来、“地参地翔”をコンセプトに、地方と地方を結ぶ、交流の架け橋となり、それぞれの文化や経済の発展に貢献することにより、地域社会に信頼され、その成功を地域の人々と分かち合う会社を目指しています。

本講では、フジドリームエアラインズが地域間の交流を促進している事例も踏まえ、リージョナル航空が地方創生に果たす役割について紹介し、また考察します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生は直接教室に参集願います。

（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。ご注意ください）。

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp－



株式会社フジドリーム
エアラインズ
代表取締役会長
鈴木与平氏